

ハロー!

ニューファミリー



新保 翔平さん (25歳)
(旧姓 佐藤) 文音さん (26歳)

今のままでこれからもずっと

二人は文音さんが介護士として勤めていた職場に、翔平さんが事務職員として採用されたのが出会いで、ある日翔平さんが作業をして服が乱れているところに文音さんが声をかけてくれたことで話すようになり、同級生で価値観が合ったということもあり意気投合、間もなく交際が始まり二人は順調に愛を育み、付き合い始めて1,000日後の今年6月6日にめでたく入籍しました。年内には結婚式も行い、来年春には子供が生まれる予定で幸せっぱいの2人は「今はたわいない会話で笑っている生活が楽しく、ケンカもしていないので、これからも今楽しいと思えていることをそのまま続けていき、協力し合って思いやりのある家庭を築いていきたい」と明るい未来に笑みがこぼれています。

大棟耕介氏講演会 「今を大切に」



置戸高校の開町100周年記念協賛事業として、全国で約70名のクラウン（道化師）が小児病棟に入院している子ども達を訪問し、闘病中の子ども達に笑顔を届け、病気に立ち向かう勇気を与える活動「ホスピタル・クラウン」活動を行っているNPO法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長であり、有限会社プレジャー企画代表取締役会長の大棟耕介氏の講演会が10月2日、置戸高校生や一般町民が集まり中央公民館で開かれました。

冒頭にクラウン姿で現れ、皿回しや脚立でのパフォーマンスを披露し会場を和ませた後、スーツ姿で現れ、大企業のサラリーマンを辞め会社を設立した経緯、ホスピタル・クラウン活動により入院している子ども達の口数が増える、姿勢が前のめり

なる、声大きくなるなど空気をつくることのできるとの話がありました。

そして、「素敵な大人になるために高校を卒業しても高校の友達を大事にして。卒業し社会に出たら応援してくれる友達がかけがえのないものになる。

期待されたら期待に応える。期待に対して真剣に取り組み、家族のため、友達のために殻を破って前に進んで全力で生きて下さい。

今を大切に。昨日に戻ることはできない。全力で生きると期待が集まり、たくさんの思いが集まる。この1日を大事にしないと将来はない。一生涯で一番成長する過程のこの3年間を101%の力で全力で頑張ってください」と激励しました。